

平成28年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月13日

上場取引所 東

上場会社名 TONE株式会社
 コード番号 5967 URL <http://www.tonetool.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 松村 昌造
 (氏名) 井上 昌良
 配当支払開始予定日

TEL 06-6649-5967
 平成28年2月15日

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第2四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第2四半期	2,595	9.0	461	45.1	474	23.3	291	32.3
27年5月期第2四半期	2,379	13.1	318	38.1	385	60.0	220	82.2

(注) 包括利益 28年5月期第2四半期 266百万円 (5.8%) 27年5月期第2四半期 252百万円 (83.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第2四半期	28.24	—
27年5月期第2四半期	21.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年5月期第2四半期	6,185	3,829	61.9
27年5月期	6,321	3,645	57.7

(参考) 自己資本 28年5月期第2四半期 3,829百万円 27年5月期 3,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	5.00	—	8.00	13.00
28年5月期	—	5.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,430	6.2	800	△2.0	800	△11.3	450	△11.4	43.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年5月期2Q	11,713,000 株	27年5月期	11,713,000 株
② 期末自己株式数	28年5月期2Q	1,405,865 株	27年5月期	1,405,865 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年5月期2Q	10,307,135 株	27年5月期2Q	10,308,887 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢などが改善し、景気は緩やかな回復基調で推移してきたものの、中国経済の急激な減速をはじめ、各資源価格の大幅な下落が資源国の経済を直撃するなど、海外経済の減速が国内景気を押し下げるリスクとなっており、先行きは一層不透明な状況となっております。

このような経済状況のもと、当社グループは『「ボルディング・ソリューション・カンパニー」』として社会の発展に貢献し、地球上になくてはならない企業をめざす。』を企業理念に掲げ、「ボルト締結分野」においてお客様が求める価値を的確に捉え、「スピード感と一体感のある製品開発体制」を基軸に保有技術を効率的に活用した製品の開発・導入を推進し、より多くのお客様に「ボルト締結」に最適な手段を提供してまいりました。

また、デザインを一新した「次世代工具シリーズ」の本格投入、主力製品「シャーレンチ」製品群の販売強化に加え、充実のラインアップを誇る「ナットランナー」製品群の販売強化、さらにお客様要望を捉えた特殊品対応をすることにより市場深耕を図るなど売上高の伸長に懸命な努力をいたしました。

新しい試みとしましては、モータースポーツを応援することを通じて、工具の魅力をもっと伝えたいという想いから、ライダーサポートやレース協賛などを積極的に展開し、新たなTONEの可能性を追求してまいりました。

更に、今後、拡大が期待できる海外販売への対応につきましては、海外新工場の安定稼働によりグローバルな視点での製造・販売の最適化を進め、海外成長を支えるための体制強化を図ってまいりますとともに、品質と信頼の世界ブランド「TONE」の確立をめざし、製品とサービスの拡充と卓越した技術力で企業価値向上に努めてまいります。

その結果、作業工具類の売上高は、新製品群の投入効果や設備投資の増加などを背景に、13億6千1百万円となりました。機器類の売上高は、建築物件増加に伴う本格的な回復に加え、引き続き堅調な東南アジア向け輸出や中国・米国市場の緩やかな回復にも支えられ12億3千3百万円となりました。

従いまして、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は25億9千5百万円（前年同期比9.0%増）となり、営業利益は4億6千1百万円（前年同期比45.1%増）、経常利益は4億7千4百万円（前年同期比23.3%増）となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税及び法人税等調整額を1億8千3百万円計上したことにより、2億9千1百万円（前年同期比32.3%増）となりました。

各セグメントの概要は、次のとおりであります。

国内におきましては、作業工具類の売上に関しては、新製品群の本格投入を基軸に、購買意欲を高める拡販活動を積極的に展開し、機器類の売上に関しても、建設土木関連における回復が本格化する中、売上伸長に懸命な努力をいたしました結果、売上高合計は19億2千8百万円（前年同期比4.5%増）となりました。その内訳は、西日本全体が9億9千9百万円（前年同期比4.1%増）、東日本全体が9億5千万円（前年同期比6.1%増）であり、ともに前年同期を上回りました。

海外におきましては、中国市場における売上は鈍化してはいるものの、北米、東南アジア市場における売上が引き続き堅調に推移したことにより、輸出合計は6億6千6百万円（前年同期比24.7%増）となり、前年同期を大きく上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は61億8千5百万円となり前連結会計年度末に比べ1億3千5百万円減少しました。この主な要因は、たな卸資産の増加6千5百万円等がありましたが、現金及び預金の減少7千8百万円、受取手形及び売掛金の減少5千6百万円等によるものであります。

(負債)

負債合計は23億5千6百万円となり前連結会計年度末に比べ3億1千9百万円減少しました。この主な要因は、短期借入金の増加1億5百万円等がありましたが、賞与引当金の減少9千6百万円、未払法人税等の減少1億2千7百万円、長期借入金の減少1億4千7百万円等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は38億2千9百万円となり前連結会計年度末に比べ1億8千4百万円増加しました。この主な要因は、剰余金の配当8千2百万円等がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益2億9千1百万円の計上等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況を踏まえ、平成27年7月13日発表の「平成27年5月決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及
び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」とい
う。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動によ
る差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法
に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計
処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に
反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分
への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会
計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及
び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首
時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	443,108	364,462
受取手形及び売掛金	1,187,091	1,130,631
商品及び製品	781,694	906,450
仕掛品	449,307	407,579
原材料及び貯蔵品	676,170	658,704
繰延税金資産	59,787	17,520
その他	38,686	72,563
貸倒引当金	△3,690	△3,480
流動資産合計	3,632,156	3,554,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	674,808	650,555
機械装置及び運搬具(純額)	113,085	111,385
工具、器具及び備品(純額)	28,479	24,733
土地	740,263	740,263
リース資産(純額)	42,947	37,405
建設仮勘定	-	1,309
有形固定資産合計	1,599,585	1,565,653
無形固定資産		
リース資産	17,931	20,358
その他	59,341	51,422
無形固定資産合計	77,272	71,780
投資その他の資産		
投資有価証券	708,995	694,857
その他	303,257	298,967
投資その他の資産合計	1,012,252	993,825
固定資産合計	2,689,110	2,631,259
資産合計	6,321,267	6,185,692
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	565,771	562,063
短期借入金	622,141	727,488
リース債務	19,843	21,355
未払法人税等	267,796	140,720
賞与引当金	102,328	5,624
役員賞与引当金	32,000	-
未払金	117,450	111,625
未払費用	53,145	99,790
その他	57,803	21,467
流動負債合計	1,838,281	1,690,136

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
固定負債		
長期借入金	378,145	230,859
長期未払金	55,998	47,980
リース債務	44,095	39,464
繰延税金負債	169,988	171,716
退職給付に係る負債	183,600	170,100
資産除去債務	3,780	3,780
その他	2,300	2,300
固定負債合計	837,907	666,201
負債合計	2,676,189	2,356,338
純資産の部		
株主資本		
資本金	605,000	605,000
資本剰余金	163,380	163,380
利益剰余金	2,949,909	3,158,576
自己株式	△370,325	△370,325
株主資本合計	3,347,964	3,556,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	295,308	285,722
為替換算調整勘定	1,805	△13,000
その他の包括利益累計額合計	297,113	272,722
純資産合計	3,645,078	3,829,354
負債純資産合計	6,321,267	6,185,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
売上高	2,379,831	2,595,082
売上原価	1,488,489	1,514,250
売上総利益	891,342	1,080,831
販売費及び一般管理費	573,135	618,971
営業利益	318,206	461,860
営業外収益		
受取利息	110	141
受取配当金	9,012	11,416
投資有価証券売却益	72	7,999
為替差益	59,776	-
その他	3,465	4,835
営業外収益合計	72,437	24,393
営業外費用		
支払利息	4,425	3,672
為替差損	-	7,347
その他	953	260
営業外費用合計	5,378	11,279
経常利益	385,265	474,974
税金等調整前四半期純利益	385,265	474,974
法人税、住民税及び事業税	116,567	135,302
法人税等調整額	48,588	48,547
法人税等合計	165,156	183,849
四半期純利益	220,108	291,124
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	220,108	291,124

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
四半期純利益	220,108	291,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,476	△9,585
為替換算調整勘定	△31,488	△14,806
その他の包括利益合計	31,988	△24,391
四半期包括利益	252,096	266,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	252,096	266,733
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	385,265	474,974
減価償却費	52,986	52,778
為替差損益(△は益)	13,969	22,320
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,711	△210
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△20,911	△13,499
賞与引当金の増減額(△は減少)	△82,279	△96,704
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,740	△32,000
受取利息及び受取配当金	△9,122	△11,557
支払利息	4,425	3,672
有価証券売却損益(△は益)	△72	△7,999
売上債権の増減額(△は増加)	△14,755	67,512
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,124	△66,324
仕入債務の増減額(△は減少)	△86,132	△2,772
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,481	△40,032
未収消費税等の増減額(△は増加)	-	△146
その他	△13,563	△54,884
小計	220,966	295,126
利息及び配当金の受取額	9,102	11,539
利息の支払額	△4,108	△3,670
法人税等の支払額	△169,668	△210,493
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,291	92,502
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△32,389	△20,899
投資有価証券の売却による収入	113	8,000
保険積立金の積立による支出	△1,525	△11,530
その他	△300	132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,101	△24,298
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	150,945
長期借入れによる収入	150,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△121,014	△292,767
配当金の支払額	△51,413	△82,136
リース債務の返済による支出	△10,560	△10,677
長期未払金の返済による支出	△5,575	△7,998
自己株式の純増減額(△は増加)	△47	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,389	△142,634
現金及び現金同等物に係る換算差額	△164	△4,215
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	33,414	△78,646
現金及び現金同等物の期首残高	531,031	443,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	564,445	364,462

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

II 前第2四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	西日本	東日本	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	960,403	884,846	534,581	2,379,831	—	2,379,831
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	11,025	—	11,025	△11,025	—
計	960,403	895,871	534,581	2,390,856	△11,025	2,379,831
セグメント利益	137,046	90,163	95,173	322,384	△4,177	318,206

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	西日本	東日本	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	999,984	928,376	666,721	2,595,082	—	2,595,082
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	22,341	—	22,341	△22,341	—
計	999,984	950,718	666,721	2,617,423	△22,341	2,595,082
セグメント利益	153,908	124,947	192,103	470,959	△9,099	461,860

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。